

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	平成30年度の法改正により、身体拘束に対する職員全体への周知徹底、教育が義務化された。	運営推進会議において、事業所の方針、職員への教育の進捗等を参加者に周知してもらう。	職員の身体拘束に関する研修への参加。井原ラーゴム内において、こういった対応をしていくのかを具体的に運営推進会議の場を利用して報告していく。	12ヶ月
2	33	入居者の高齢化、重度化が進んでいる。	最後までその人らしい生活をしていただく。	看取りも視野に、連携医療機関、家族、職員での対応方法の統一をしておく。終末期ケアに移行した際は、おおむね1Wごとの対応の確認を家族とおこない記録を残す。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。